

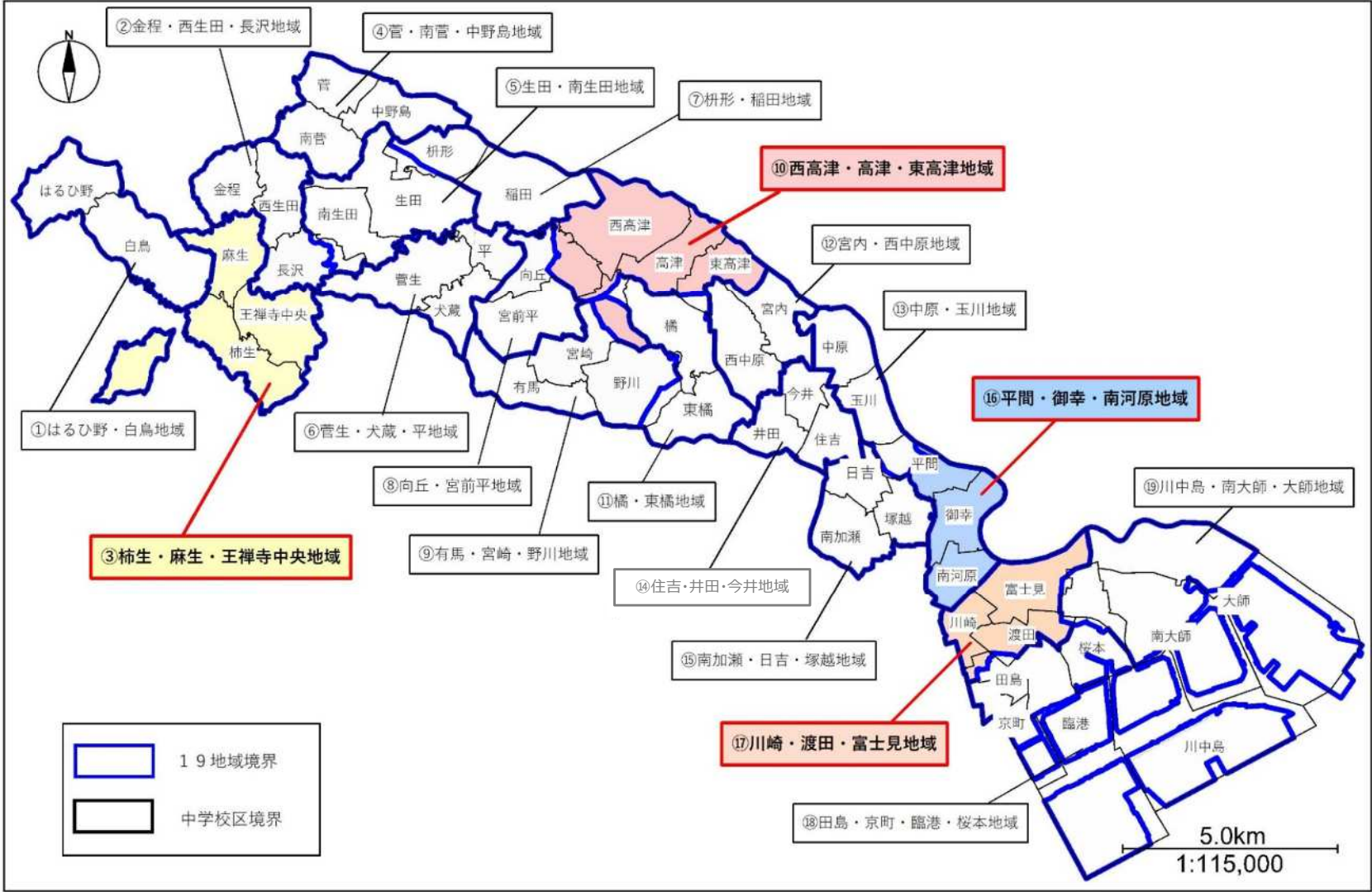
市民参加等の取組について

(ワークショップ結果等)

モデル地域の選定

(令和4年度の実施)

- 地域ごとの取組を進めるため、地形、鉄道路線・バス路線等の状況、町内会・自治会のエリア等も踏まえ、一旦、**2～4程度の中学校区単位を基本とし、「地域」の仮設定を実施（19地域）**
- このうち、優先して検討を行う地域を決定するため、老朽度・利用状況等を基に、**モデル地域4地域を選定**

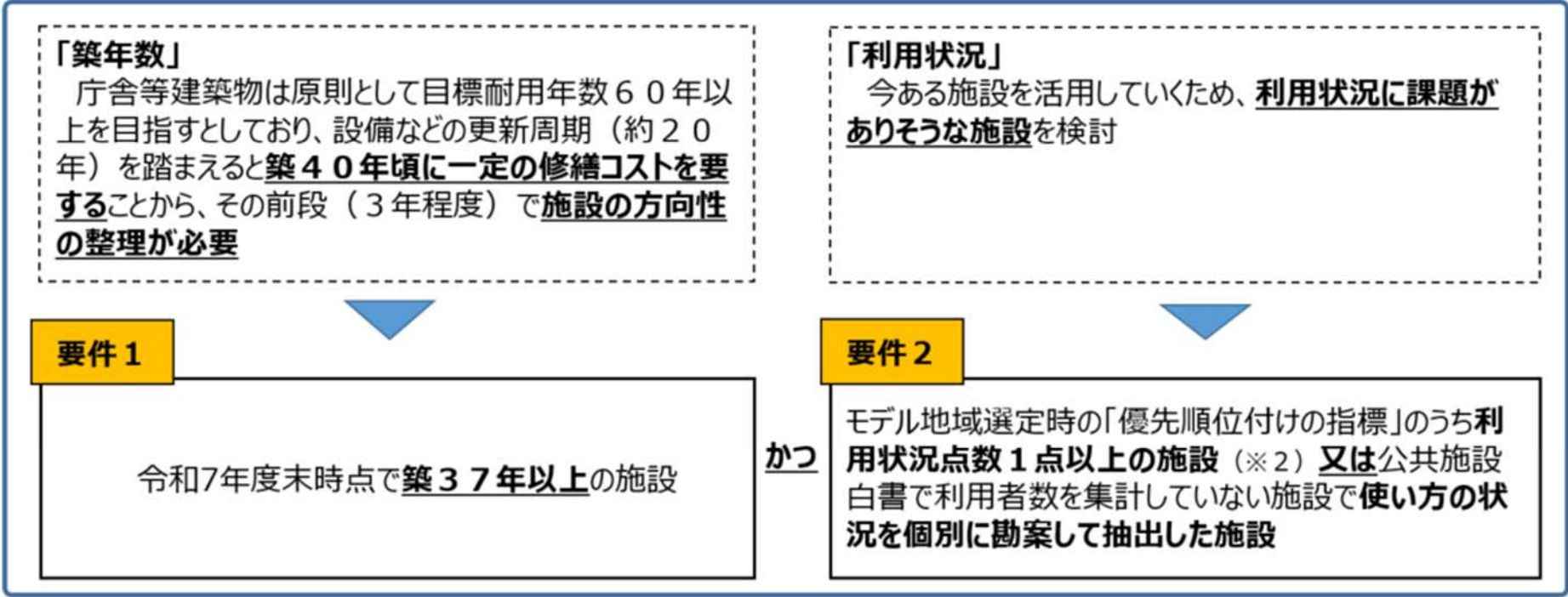


モデル地域における検討の進め方

検討にあたっては、資産マネジメント第3期実施方針において「広域的観点に基づく検討」を行うこととしており、モデル地域の検討においては、**検討の起点となる施設（以下「起点施設」という。）を選定し、複数の施設を含めた広域的な視点で、適正配置の検討を行います。**

⇒具体的には、検討の相手方となる施設（以下、「相手方施設」という。）を抽出し、起点施設と相手方施設によるグループを作成した上で分析を進めることとします。

■起点施設（※1）の選定基



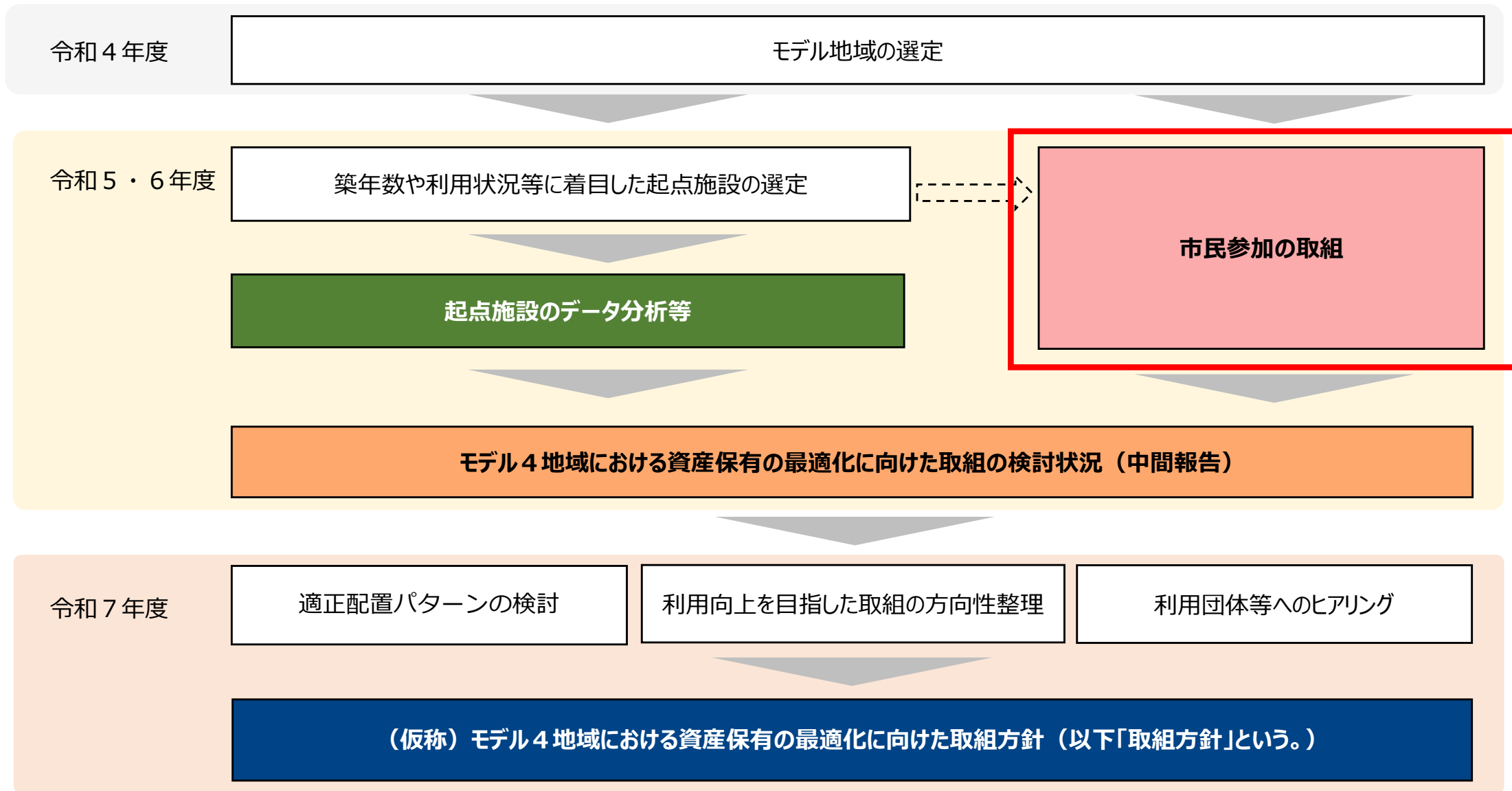
（※1）・庁舎施設及び特定の用途に限定される施設、個別計画策定済みの学校施設及び市営住宅など本取組とは別に事業に関する計画等に基づき検討する施設については、起点施設の対象外とするが、相手方施設に含まれる場合がある。
・建替や廃止など施設の方向性が整理されている施設については、検討の対象外とする。
・起点施設以外について、検討を進める中で、社会環境変化等により最適化検討が必要と考えられる場合は、起点施設に加えることがある。

（※2）モデル地域選定時の公共施設白書で利用者数を把握している全施設と比較し、利用度偏差値45未満は2点、45以上50未満は1点、50以上は0点とする。

モデル地域内の施設数

モデル地域	川崎・渡田・富士見	平間・御幸・南河原	西高津・高津・東高津	柿生・麻生・王禅寺中央	合計
起点施設	消防会館 かわさき健康づくりセンター 川崎能楽堂 旭町こども文化センター 渡田こども文化センター 大島老人いこいの家 南部身体障害者福祉会館 川崎休日急患診療所	産業振興会館 幸スポーツセンター 地域子育て支援センターふるいちば 古市場老人いこいの家 南河原老人いこいの家 幸休日急患診療所	生活文化会館（てくのかわさき） 男女共同参画センター 梶ヶ谷こども文化センター 地域子育て支援センターかじがや 上作延老人いこいの家 高津老人いこいの家 北部身体障害者福祉会館 地域福祉施設ちどり 福祉パルたかつ 高津休日急患診療所	麻生区役所 麻生区役所柿生分庁舎 麻生市民館 麻生図書館 麻生市民館岡上分館 麻生スポーツセンター 白山中学校跡地施設 虹ヶ丘こども文化センター 白山こども文化センター 王禅寺こども文化センター 地域子育て支援センターみなみゆりがおか 白山老人いこいの家 王禅寺老人いこいの家 麻生休日急患診療所	
	8	6	10	14	38
起点施設以外	105	55	84	50	294
合計	113	61	94	64	332

取組フロー



地域の公共施設の未来を考えるワークショップについて

地域ごとの公共施設の使い方や機能のあり方の整理に向けて、様々な立場・年代の市民の皆さまから、地域にある公共施設の未来に向けたより良い使い方等に関するご意見をいただき公共施設に対する幅広い市民ニーズ等を把握するため、「地域の公共施設の未来を考えるワークショップ」を開催しました。

ワークショップの概要

① 実施時期等	令和5（2023）年11月から令和6（2024）年11月にかけて各モデル地域で計5回、合計20回実施
② 参加者	無作為により抽出したモデル地域にお住まいの満15歳以上の方、及び町内会関係者の方 第1回：99名 第2回：87名 第3回：116名 第4回：80名 第5回：82名 合計：464名 ※参加者数は4区合計
③ 内容	← 令和5年度 → ← 令和6年度 → 第1回 「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」体験会 資産マネジメント第3期実施方針の考え方を理解していただくため、「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」を実施 第2回 地域の将来像・施設の使い方を考える モデル地域の特徴や課題等を踏まえ、どんな地域が魅力的か、その地域の実現にはどのように施設を使えばよいか、について意見交換を実施 第3回～第4回 身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討 第2回で話し合ったモデル地域の将来像等を踏まえ、その実現に向けて起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ等についての意見交換を実施 第5回 第3回・第4回の検討成果の共有とワークショップ全体の振り返り 班ごとに行っていた検討成果を全体に共有し、トークセッションを通じてワークショップ全体の振り返りを実施

ワークショップの様子



第1回（麻生区）



第2回（川崎区）



第3回（幸区）



第4回（高津区）



第5回（麻生区）

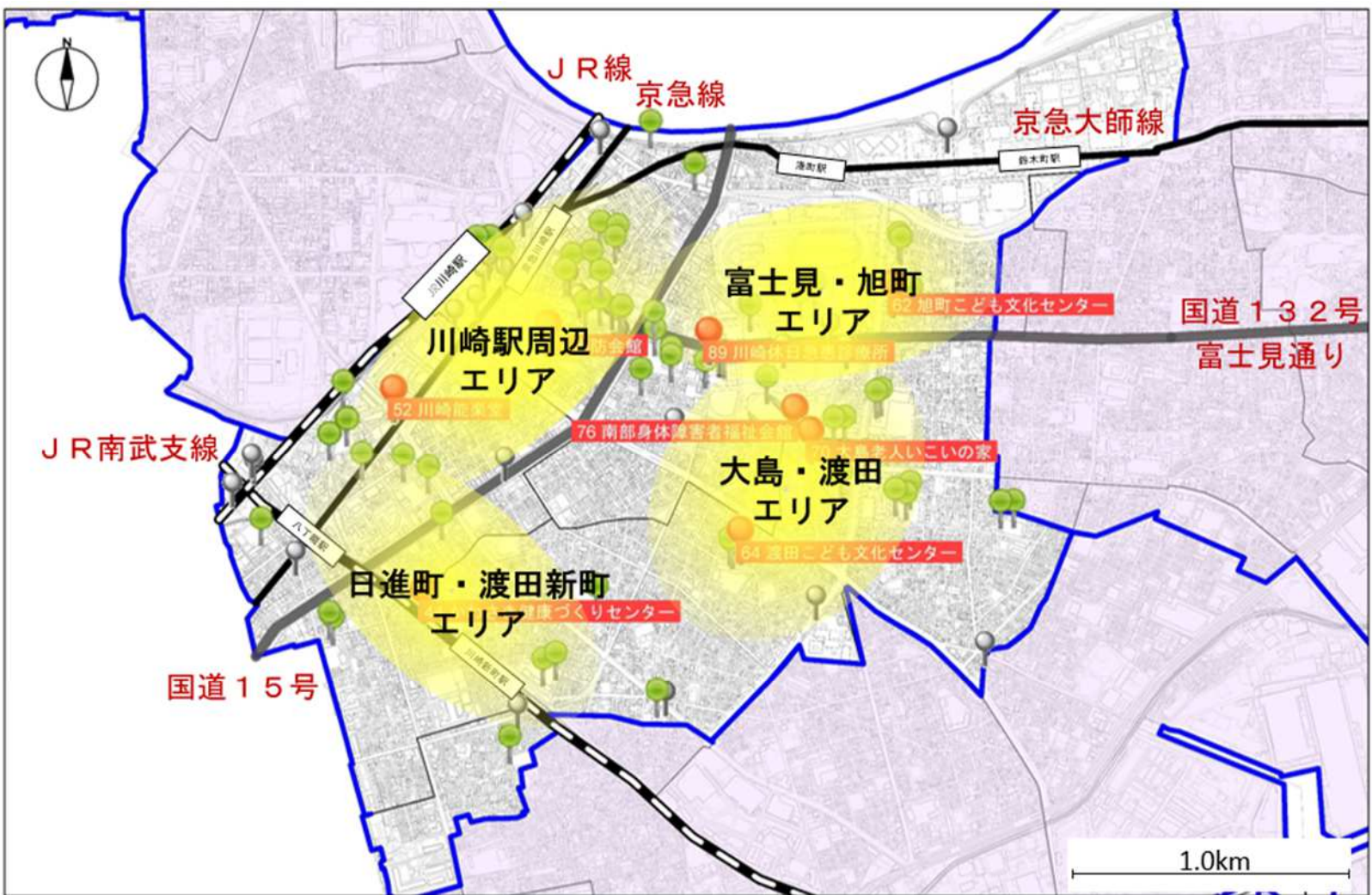
モデル地域ごとの結果概要

(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

① 意見交換のテーマ及びエリア設定

起点施設について周辺地域の魅力的な将来像や、「起点施設にあったらいいな」と思う機能とその理由等について意見交換していただきました。

川崎区のモデル地域では、起点施設周辺の地形、鉄道・バス路線等を踏まえて4つのエリアを設定しました。



(1) 川崎区モデル地域（川崎・渡田・富士見地域）

② 意見交換のまとめ

エリアごとの意見交換でいただいた主な意見・アイデアは以下のとおりです。

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

エリア名	起点施設	エリアの魅力ある将来像	将来像の実現に向けた視点	あったらいいと思う機能やニーズ
①川崎駅周辺	消防会館 川崎能楽堂	・駅前に<u>憩いの場</u>や面白い個店が増えて、昼でも夜でも皆が<u>安心</u>して遊びに来たくなるまち ・住む人も来る人もみんなが気持ち良く<u>安全安心</u>に過ごせるまち ・だれもが<u>ほっとできる</u>空間のあるまち　きれいなにぎわいのあるまち	・<u>全世代・多世代</u>が気持ちよく過ごせる ・<u>子育て世代</u>を支援 ・<u>外国人とコミュニケーション</u>ができる ・<u>安心安全</u>の機能が充実している	・若い人に情報が入れば家族で行くようになるため、施設の情報を若い人に知ってもらうようにSNSで<u>情報発信</u>する ・現状では用途が限定されており利用しづらいため、<u>機能を他に集約・移転</u>する ・様々なイベントやスクールなど、<u>様々な使い方が</u>でき、<u>川崎カルチャーの拠点</u>になる
②日進町・渡田新町	かわさき健康づくりセンター	・地域のなかに目的や<u>老若男女問わずに交流や助け合い</u>がうまれる場や環境があるまち ・子どもがのびのび遊べる公園があり、<u>高齢者と子どもの交流</u>など住民のコミュニケーションが盛んで、公共交通が今より便利で、<u>住民に防災意識がある</u> ・高齢者もおひとりさまも歓迎！<u>世代を超えて人が集まる</u>魅力的な場所がある	・知り合いができたり<u>交流</u>できる ・<u>目的や利用者が限定されていない</u> ・住民同士の<u>コミュニケーション</u>がある ・<u>世代を超えて集まる</u>	・<u>多世代</u>や<u>外国籍</u>の人も、一緒に<u>交流</u>できる場、コミュニティの場になる ・プレイキンやダンスなど、<u>空き時間を有効活用する</u> ・何に利用できる施設か分からないので、利用促進のため<u>施設のPR</u>をしっかりと行う ・予約や登録の<u>仕組みを見直し</u>、気軽に初めての人も使いやすく、個人利用しやすくなる
③富士見・旭町	川崎休日急患診療所 旭町こども文化センター	・<u>来街者・外国籍の方・新旧住民</u> 垣根なく<u>交流</u>できるスクランブル交差点になり、<u>文化・スポーツ・教育</u>の中心地へ ・地域住民の<u>交流</u>の場や行事があり、人と人をつなげるおせっかいチームがある	・<u>多世代</u>が使える ・<u>来街者・新旧住民・外国籍の方などが交流</u>できる ・<u>文化・スポーツ、教育</u>の中心地 ・住民の<u>交流</u>の場や行事がある	・<u>大人も子どもも</u>使える学習スペース、地域の方がおしゃべりで使えるカフェなど、<u>多世代</u>が利用できる<u>交流</u>の場、<u>憩いの場</u>になる ・周りに病院がたくさんあることから、既存の<u>機能</u>は周辺の施設に<u>移転</u>させ、<u>外国籍の方なども交流</u>できる<u>国際交流拠点</u>にする ・<u>防災備品や備蓄の拠点</u>
④大島・渡田	大島老人いこいの家 南部身体障害者福祉会館 渡田こども文化センター	・地域の文化と資源を生かした<u>交流</u>が生まれるまち ・地域のなかに目的や<u>老若男女問わずに交流</u>や助け合いがうまれる場や環境があるまち	・<u>交流</u>の場があって<u>安心</u>して暮らせるまちになってほしい ・公共施設の使い方が<u>PRなどで分かりやすくな</u>ってほしい ・<u>文化的</u>な施設がある	・一般開放されるイベントなど、<u>世代を越えて</u>お互いに<u>交流</u>できる機会をつくる ・<u>対象年齢を緩和</u>してこども文化センターといこいの家の<u>機能</u>を結んで利用者の<u>交流</u>の機会を増やす ・近隣のわくわくプラザや中学校にこども文化センターの<u>機能を移転</u>させる

主な意見・アイデアのキーワードとしては・・・

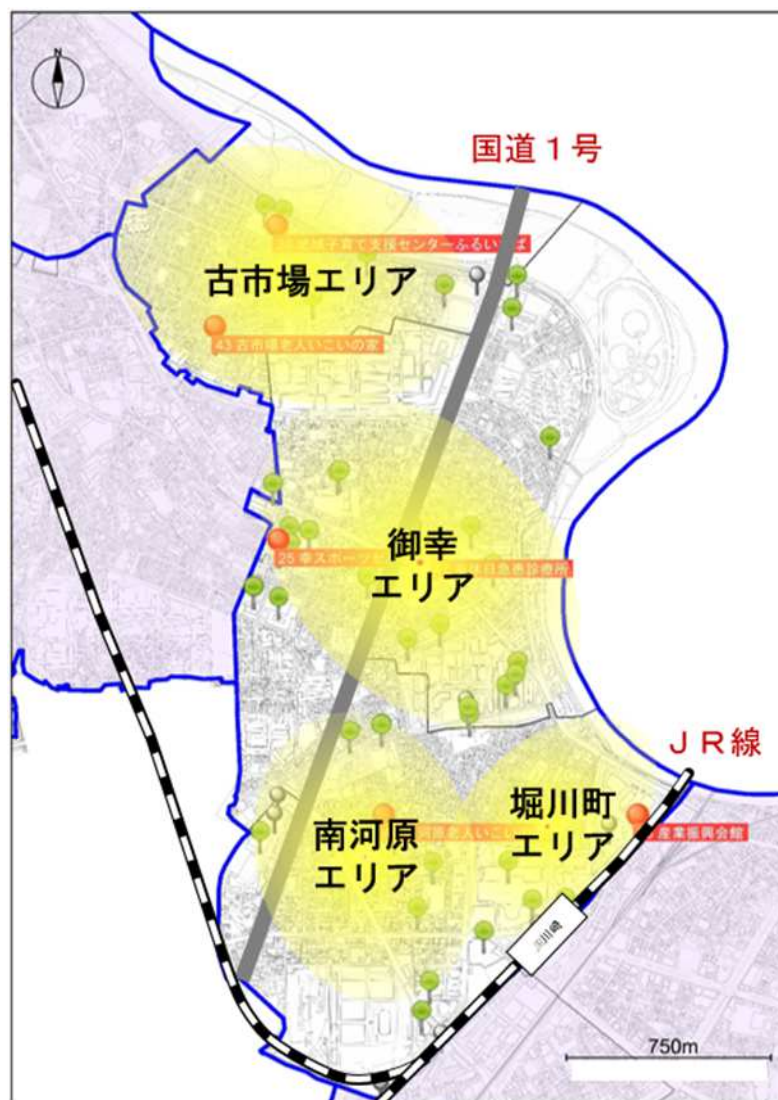
- ・将来像から見えてきた公共施設の機能に関すること ⇒ 「多世代交流」、「子育て支援の充実」、「文化・芸術活動」、「安心安全・防災」、「国際交流」
- ・公共施設の使い方等に関すること ⇒ 「利用制限の見直し」、「使われていない時間帯の有効活用」、「情報発信」、「機能集約や移転なども有効」

(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

① 意見交換のテーマ及びエリア設定

起点施設について周辺地域の魅力的な将来像や、「起点施設にあったらいいな」と思う機能とその理由等について意見交換していただきました。

幸区のモデル地域では、起点施設周辺の地形、鉄道・バス路線等を踏まえて4つのエリアを設定しました。



(2) 幸区モデル地域（平間・御幸・南河原地域）

② 意見交換のまとめ

エリアごとの意見交換でいただいた**主な意見・アイデア**は以下のとおりです。

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

エリア名	起点施設	エリアの魅力的な将来像	将来像の実現に向けた視点	あったらいいと思う機能やニーズ
①堀川町	産業振興会館	- 図書館や教育施設・勤労者の為の学びの場を充実させて、多世代が交流、融合するまち - 一治水による安全確保と川という資源を有効活用 - 気軽に使いやすい、多世代が交流できる仕組・し かけ等がある 川沿いエリアを、住んで楽しい 働いて楽しい 歩いて楽しいエリアに！	多世代が交流できる 高齢者と子どもが遊べる場 - 駅と多摩川をつなぐイノベーション拠点に 企業連携 図書館の充実で知識を増やせる	- 駅と多摩川をつなぐイノベーション拠点として、コワーキングスペース、おしゃれなカフェやレストランがあると良い 周辺企業と連携し、スタートアップや中小・周辺企業の拠点にしてい 文化活動の拠点、市民活動を支援する拠点に活用 - 施設名を変えたり、施設情報を目立つ形で発信して、皆が興味を持ってくれるようにしたい
②古市場	地域子育て支援センター ふるいちば 古市場老人いこいの家	世代を超えたコミュニケーションの充実により、まちの住環境が改善し、魅力が増していくまち - のんびりと永く暮らすまち #孫と暮らす #おだやか - 若い世代が30年後も住みたいと思えるような子育て てできる生活しやすいまち	世代を超えてコミュニケーションできる 交流できる 企業と組む	多摩川に近い立地を活かして、世代を限定しないカフェ、軽食、多目的ルーム、リバースポーツなどの多機能な施設にしたい - 様々な人が利用できると顔が見える地域になり、安心・防犯にもつながるため、土日の開放や開館時間が増えると良い 企業とコラボしながら活用する
③御幸	幸スポーツセンター 幸休日急患診療所	多世代が交流できる、エリア内で楽しめるまち - 身近で行き来しやすい所に商業施設や娯楽施設、交流の場などのサービスがある	多世代の交流がある	- マルシェ、フリーマーケット、飲食店、広いカフェスペースなど、スポーツをしない人も来やすい場所にし、色々な人が交流できるようにする 利用していないスペースや時間帯は住民の交流の場など自由に使えるように開放する - 市民が公共施設で何をやっているのかもっと分かりやすくPRしてほしい 利用時間や利用対象など、ニーズに合った公共施設の運用をする
④南河原	南河原老人いこいの家	- 南河原の特色を生かして朝から夜まで気軽に使える場が沢山あり、人々が共生できるまちになり、皆が永く住める街 多世代と多様な文化の人が交流できる	多世代で交流できる 子育て相談や子ども同士で遊べる 企業との共生 - 地域の交流が盛ん	- 外観が一軒家であり入って良いのか分からない、入りづらいため、入口を魅力的な空間にする工夫や、どの世代も入りやすい名前に変える 利用時間や利用対象を見直すことで、いつでも誰でも利用できる場所にする 子ども食堂にして多世代で使う

主な意見・アイデアのキーワードとしては・・・

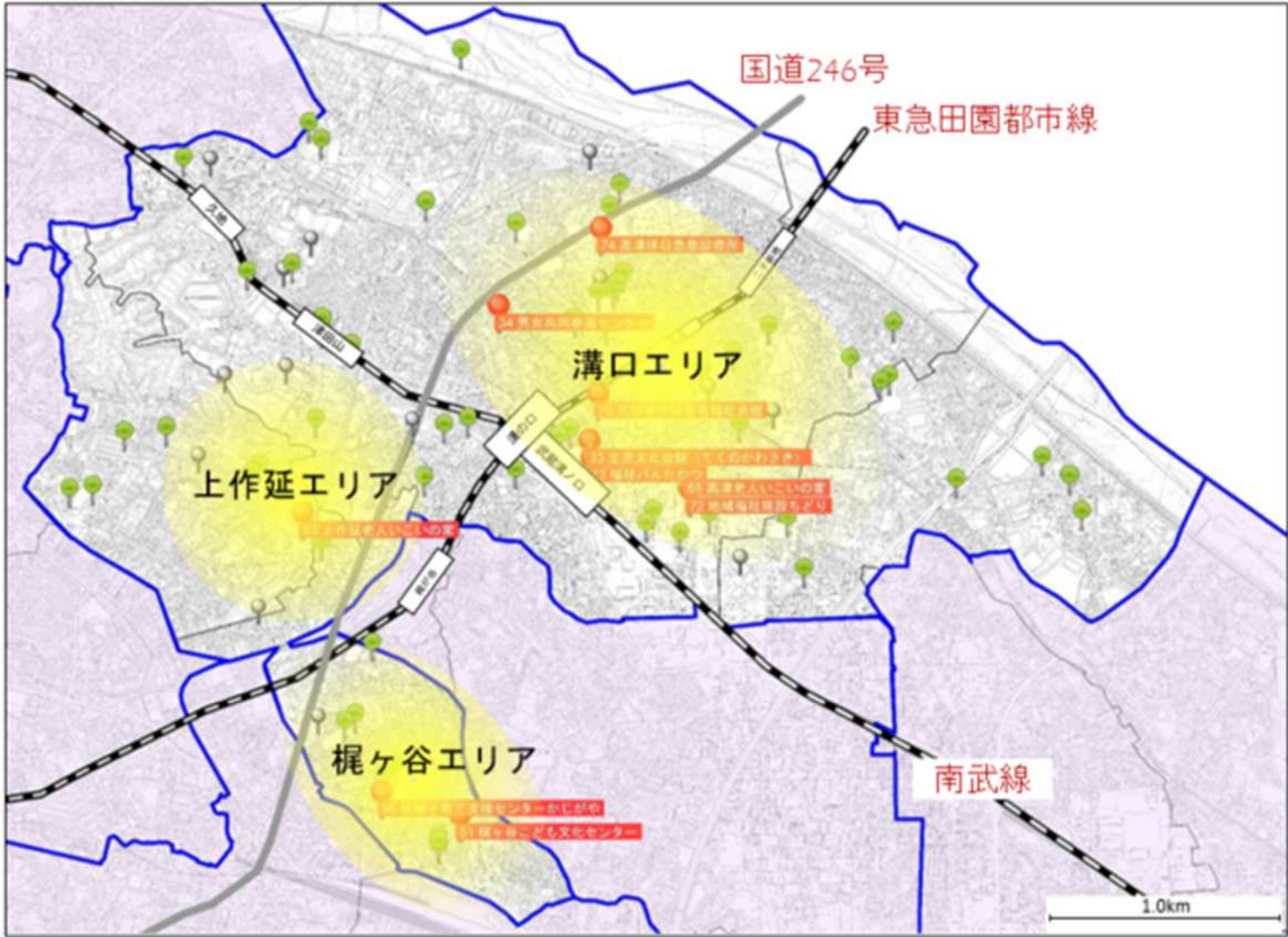
・将来像から見えてきた公共施設の機能に関すること	⇒	「多世代交流」、 「子育て支援の充実」、 「文化・芸術活動」、 「企業との連携」、 「多摩川の資源を活用」
・公共施設の使い方等に関すること	⇒	「利用制限の見直し」、 「使われていない時間帯の有効活用」、 「入りづらい」、 「分かりづらいのでPRして欲しい」

(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

① 意見交換のテーマ及びエリア設定

起点施設について周辺地域の魅力的な将来像や、「起点施設にあったらいいな」と思う機能とその理由等について意見交換していただきました。

高津区のモデル地域では、起点施設周辺の地形、鉄道・バス路線等を踏まえて4つのエリアを設定しました。



(3) 高津区モデル地域（西高津・高津・東高津地域）

② 意見交換のまとめ

エリアごとの意見交換でいただいた主な意見・アイデアは以下のとおりです。

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

エリア名	起点施設	エリアの魅力的な将来像	将来像の実現に向けた視点	あったらいいなと思う機能やニーズ
①上作延	上作延老人いこいの家	- 歩いて楽しめる街 #起点施設と地域とのつながり#集える #歩道広く 子どもと高齢者がイキイキ暮らせるまち	子どももお年寄りも多世代が利用できる 子育て、働き世代が活躍する場がある(楽しめる) 集まれる、憩える場がある 農家との連携	地域で採れた野菜を集めて販売したり、畑で子どもたちと野菜を育ててコミュニケーションを図る - Wi-Fi導入、地元の人が集えるカフェ、和室の変更など、時代にあわせてフレキシブルに建物が使えるようにし、開放的にして個人でも利用しやすくなると良い - 災害拠点の小学校からも距離があることから、地震、台風等の防災拠点としての機能があると良い
②梶ヶ谷	梶ヶ谷こども文化センター 地域子育て支援センター かじがや	- 坂があっても、多世代が集まり、子育てしやすく、子どもが自然にふれあえる - 坂が多くて移動が大変なので、家以外の近所の場所でもテレワークやゆったりとした過ごし方、アクティブな過ごし方、買い物など、快適に過ごせるまち	多世代が使える 多世代が集まることができる - 地域の歴史や農業を活かす	日中使っていないスペースをテレワークスペースにしたり、誰でも使えるように名称を変えるなど、地域の多世代コミュニティの場にする - 拠点の近くに災害用の備蓄品をストックする 子育てに限らず、健康・行政・法律などよろず相談や交流ができる JAと連携して野菜等を販売できる場所
③溝口	男女共同参画センター (すくらむ21) 北部身体障害者福祉会館 高津休日急患診療所	- 他地域からも来たくくなるような場がある、文化的な財産を活かしたまち 多世代が交流できルールが守られ地域イベントが充実、人にやさしく、自転車ルールが守られ災害時も避難しやすい、安全に歩けるインフラが整備されたまち	人が集える 顔見知りがつくれる 緑道などを活かした景観を重視した動線がある	二カ領用水などの緑道や、大山街道の歴史と文化を活用して人が集まる機能がある - 鏡があるスタジオなど、利用者目線で使いやすく、誰でも垣根なく使えるように - 市民館と機能が似ているため統合してはどうか 施設がどこにあるのか知られていないので、使える場所をまとめたマップがあるといい 機能を他の施設の空いているところに移転
④溝口	生活文化会館（てくのかわさき） 福祉パルたかつ 高津老人いこいの家 地域福祉施設ちどり	幅広い年代が好きな過ごし方ができて、その場所に安全に移動ができるまち	文化拠点（図書館等）が駅近に欲しい - 人が集える	- 学校と連携して、授業などで子供が訪れて技術にふれるチャンスにする 子どもが仕事体験（職人との交流等）できる場に - 高津図書館の分館、ダンスや音楽のスタジオなど、誰でも利用できる文化拠点にする - 保育や勉強スペースを増やすなど、多世代交流もできる、中高生の居場所を増やす

主な意見・アイデアのキーワードとしては・・・

- ・ 将来像から見えてきた公共施設の機能に関すること

⇒ 「**多世代交流**」、 「**子育て支援の充実**」、 「**文化・芸術活動**」、 「**防災**」、 「**農や自然**」
- ・ 公共施設の使い方等に関すること

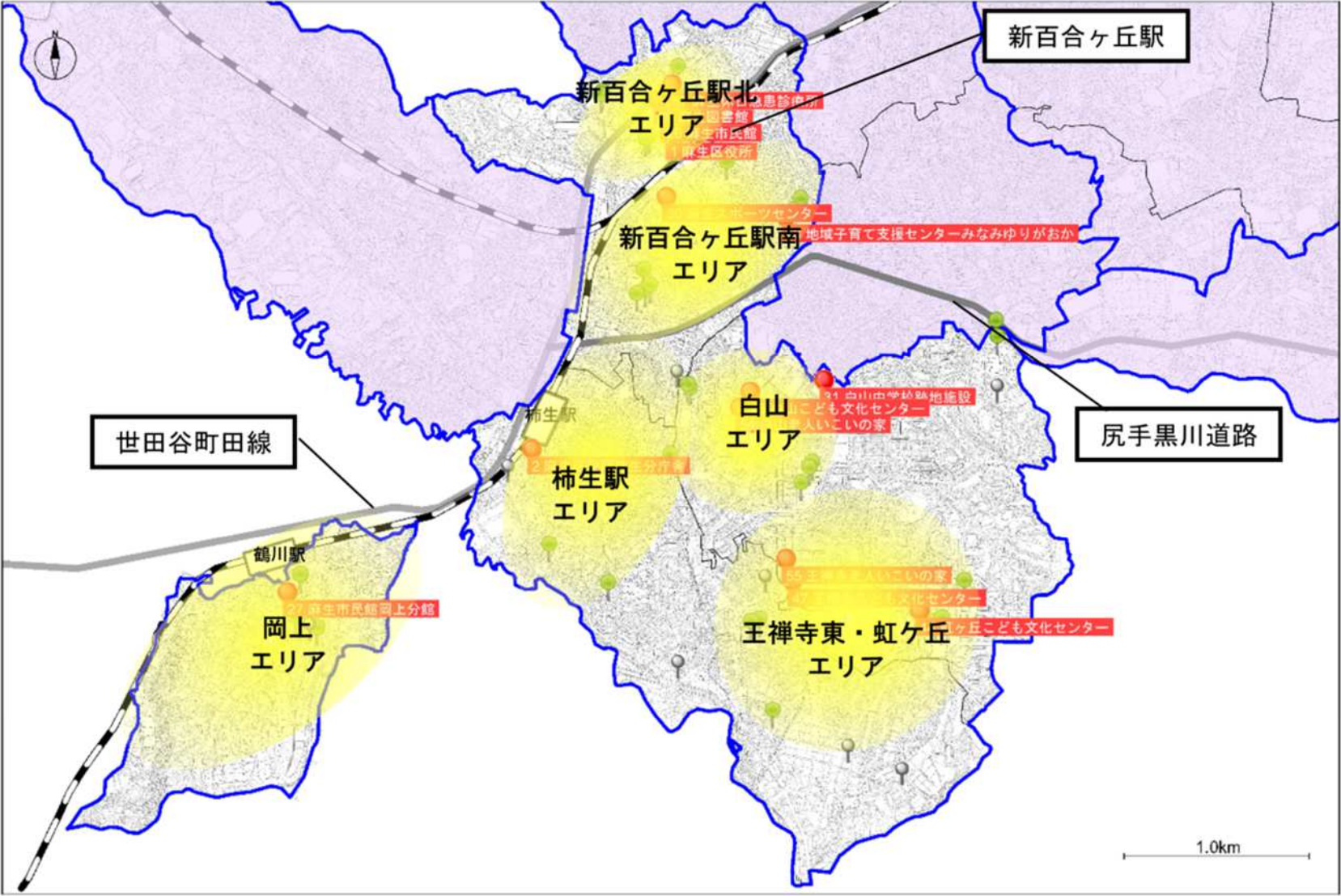
⇒ 「**利用制限の見直し**」、 「**使われていない時間帯の有効活用**」、 「**知られていない**」、 「**機能集約や移転なども有効**」

(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

① 意見交換のテーマ及びエリア設定

起点施設について周辺地域の魅力的な将来像や、「起点施設にあったらいいな」と思う機能とその理由等について意見交換していただきました。

麻生区のモデル地域では、起点施設周辺の地形、鉄道・バス路線等を踏まえて6つのエリアを設定しました。



(4) 麻生区モデル地域（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

② 意見交換のまとめ

エリアごとの意見交換でいただいた**主な意見・アイデア**は以下のとおりです。

赤字：モデル4地域で共通して見えてきた意見・アイデア
青字：各地域で特徴的な意見・アイデア

エリア名	起点施設	エリアの魅力的な将来像	将来像の実現に向けた視点	あったらいいなと思う機能やニーズ
①新百合ヶ丘駅北	麻生区役所 麻生市民館 麻生図書館 麻生休日急患診療所	・買い物や公共施設に行きやすいウォーカブルなまちで、 緑地や桜 も楽しめ、 多世代が交流 できる ・安心して集える 文化芸術 の活動拠点がつながり、 人もつながっている まち	・ 多世代 が気軽に 交流 できる ・色々なところで 文化芸術活動 が行われ、周知されている ・ 緑が豊か で散歩も楽しめる	・屋根や空中庭園があるなど、 目的無く集まりやすい 市民の憩いの広場があるといい ・ 活動を知らない、色々な機能があるのにもったいない という意見があるのでイベントや活動が外から見えるようにする。
②新百合ヶ丘駅南	麻生スポーツセンター 地域子育て支援センター みなみゆりがおか	・ 子育て世代 に優しく、若い人や外国人など様々な人が集まって 交流 し活気があるまち ・ 環境 と生活が調和し、若い人が移住したくなるまち。	・ 子育て世代 に優しい ・ 芸術 を発表できる ・普段から接点のない人が 交流 できる	・多様な情報が得られ 子育て層も高齢者も若い人も 使える 多機能 があり、自然と 集う場 にしたい ・「長寿日本一」ではなく、「健康寿命日本一」を目指し、 シニアが元気 に暮らせるようにする ・公共的なサービスが 集約 されていると、知らないサービスも知ることができて便利
③柿生駅	麻生区役所柿生分庁舎	・レトロ感と 自然 が魅力的なまち。外からも人が訪れ、終のすみか。まちの人々や 多世代が交流 できる拠点がある ・ 自然が豊か で公園や施設などで 交流 ができる公共交通で移動しやすいまち	・ 多世代交流 ができる ・ 自然の豊かさ を享受できる ・ 子育て世代 に魅力的 ・ 農業体験 ができる	・ 今は入りづらい ため、明るくオープンで、無料開放されたスペースになるといい ・ 野菜販売 、キッチンスペース、休憩所、 子ども食堂 などで、 多世代 が使えるといい
④白山	白山中学校跡地施設 白山こども文化センター 白山老人いこいの家	・ 若い人も高齢者 も住みやすいと思える静かで落ち着いたまち ・ 自然とアート をめぐる 白山プロムナードづくりで人でにぎわう	・ 芸術・文化 を楽しむ ・ 世代にかかわらず交流 がある ・ 高齢者も若い人も 住みやすい ・ 自然と共生 している	・日本映画大学、昭和音楽大学等と連携し 映像 などでまち紹介や、 映画祭、音楽祭 に広場を開放する ・名前を変えたり、 利用制限をなくしたり することで、地域の人が自由に使える ・こども文化センターやわくわくプラザで シニアボランティアの活用
⑤王禅寺東・虹ヶ丘	王禅寺・虹ヶ丘こども文化センター 王禅寺老人いこいの家	・ シニアと子ども が接することができる生活拠点と 自然にふれられる場 が両方あり、エリア内の回遊性UPで、皆が住みたくなるまち ・公園を中心に 緑ゆたか なにぎわいもある 多世代 がつながる シニア にも住みやすいまち	・ シニアと子ども がたくさん接することが出来る ・ シニア が住みやすい ・ 多世代 がつながる ・ 緑地 に利用しやすい仕組みがある	・近くの 農家と連携 するなど、 地域の野菜 が食べられるレストランで 多世代交流 ・ 世代を分けずに交流 できるように、イベントや販売、催しのある場がある ・民間の施設に公共施設が入って 複合化 を
⑥岡上	麻生市民館岡上分館	・ 農や緑 を最大限に活かして、地域の 交流、子育て、産業 につなげていく	・ 緑や農 を 子育て に活かす ・ 農業 を始める若者の支援 ・ 里山 を活かして 交流 や アート	・ 地域の文化財の紹介 を行うなど、岡上地域を知るための ビジターセンター 的機能を ・岡上こども文化センターで 食育の取組み や、 子ども食堂 などやってみる

主な意見・アイデアのキーワードとしては・・・

- ・ 将来像から見えてきた公共施設の機能に関すること ⇒ **「多世代交流」、****「子育て支援の充実」、****「文化・芸術活動」、****「豊かな自然」、****「元気なシニアの交流」**
- ・ 公共施設の使い方等に関すること ⇒ **「利用制限の見直し」、****「入りづらい」、****「知られていない」、****「機能の実現に向けては機能集約や移転なども有効」**

地域の公共施設の未来を考えるワークショップについて

第3～5回ワークショップの意見交換でいただいた主な意見・アイデアのキーワードから「共通して見えてきたこと」は以下のとおりです。

■主な意見・アイデアのキーワード

	川崎区モデル地域	幸区モデル地域	高津区モデル地域	麻生区モデル地域
将来像から見えてきた公共施設の機能等	「多世代交流」 「子育て支援の充実」 「文化・芸術活動」 「安心安全・防災」 「国際交流」	「多世代交流」 「子育て支援の充実」 「文化・芸術活動」 「企業との連携」 「多摩川の資源を活用」	「多世代交流」 「子育て支援の充実」 「文化・芸術活動」 「防災」 「農や自然」	「多世代交流」 「子育て支援の充実」 「文化・芸術活動」 「豊かな自然」 「元気なシニアの交流」
公共施設の使い方等	「利用制限の見直し」 「使われていない時間帯の有効活用」 「情報発信」 「機能集約や移転なども有効」	「利用制限の見直し」 「使われていない時間帯の有効活用」 「入りづらい」 「分かりづらいのでPRして欲しい」	「利用制限の見直し」 「使われていない時間帯の有効活用」 「知られていない」 「機能集約や移転なども有効」	「利用制限の見直し」 「入りづらい」 「知られていない」 「機能集約や移転なども有効」

共通して見えてきたこと

1. 将来像から見えてきた公共施設の機能等について、「多世代が交流できる」、「子育て支援が充実している」、「文化・芸術活動が活発」などの意見が多い
⇒将来像の実現に向けた施設の機能として必要と思われるものは、多世代交流や子育て支援の場・文化芸術の活動の場など、多世代が様々な用途で活動できる場と考えられる
2. また、将来像から見えてきた公共施設の機能等について、「国際交流」、「企業との連携」、「豊かな自然」など各地域で特徴的な意見もあった
⇒将来像の実現に向けて、地域特性を踏まえた検討を行うことが重要と考えられる
3. 公共施設の使い方等について、「利用制限を見直して自由に誰でも利用できる」、「使われていない時間帯の有効活用」などの意見があった
⇒施設によっては対象者の利用制限があることや、使われていない時間帯もあり、使い方に工夫の余地があると考えられる
4. 施設について、「施設が分かりづらく、使って良いか分からない」、「外から中が見えにくく入りづらい」、「どこにあるのか知られていない」などの意見があり、また、「施設の情報発信をもっとして欲しい」という意見もあった
⇒公共施設が知られていない、入りづらいなどの意見があるため、積極的な施設の情報発信や施設を利用してもらう工夫などが求められていると考えられる
5. ニーズに合った施設の実現や利便性が向上するための視点として、建替え等のタイミングで「施設の機能集約や移転」などの意見があった
⇒ニーズに合った施設等の実現に向けた取組として、機能集約や移転の手法も考えられる

地域の公共施設の未来を考えるワークショップから見えてきたこと

モデル4 地域の市民参加の取組を通じて 共通して見えてきたこと から、 今後の取組の視点 を以下の 5つ に整理します。

共通して見えてきたこと

- 1. 将来像の実現に向けた施設の機能として必要と思われるものは、多世代交流や子育て支援の場・文化芸術の活動の場など、多世代が様々な用途で活動できる場と考えられる。
- 2. 将来像の実現に向けて、地域特性を踏まえた検討を行うことが重要と考えられる。
- 3. 施設によっては対象者の利用制限があることや、使われていない時間帯もあり、使い方に工夫の余地があると考えられる。
- 4. 公共施設が知られていない、入りづらいなどの意見があるため、積極的な施設の情報発信や施設を利用してもらう工夫などが求められていると考えられる。
- 5. ニーズに合った施設等の実現に向けた取組として、機能集約や移転の手法も考えられる。

今後の取組の視点

- <視点1>
様々なニーズに対応した、多目的な機能を持つ施設を目指す。
- <視点2>
地域特性を踏まえて検討していく。
- <視点3>
使われていない時間帯の有効活用や、利用者範囲を柔軟に考えるなど、これまでの施設の使い方を再検討していく。
- <視点4>
情報発信やPRを積極的に行うなど、「公共施設を知ってもらう」取組により認知度の向上を図る。
- <視点5>
ニーズに合った施設等の実現に向けた取組として、施設の状況に応じて、機能集約や移転などの手法も含めて検討していく。

5つの視点を踏まえ、地域ごとの資産保有の最適化に向けた今後の取組を進める